

いさりび

清々しい秋晴れの中で！ ふれあいひろば“2014”



青空の下鹿部中学校吹奏楽部の生徒のみなさん18名の演奏ではじめました。

Contents

- ▶トピックス 2 P
- 鹿部小学校との交流会 他
- ▶“ふれあいひろば”2014 3 P
- ▶ズームアップ“福祉の里” 4・5 P
- 青空ふれあい縁日 etc.
- ▶みんなの集まるところ(麺類コーナー) 6 P
- ▶琴演奏ボランティア 6 P

発行／社会福祉法人 渡島福祉会

発行者／佐々木 博史

〒041-1402

北海道茅部郡鹿部町字鹿部258番地7

編集／いさりび編集委員会

TEL 01372-7-3321 FAX 7-2219

自立デイサービス お菓子作りに挑戦！



8月23日(土)に行われた自立デイサービスでは、初めての事業活動、お菓子作りに挑戦！試行錯誤し、出来上がったクッキーは特別に美味しい感じます。

お持ち帰り用に包んだクッキーを持ち、ハイポーズ！皆さん、笑顔に溢れていました。

籠づくりを体験



8月26日鹿部小学校5年生との作品交流会が行われました。

写真は籠を使ったカゴを作っているところです。

ホームページアドレス

<http://www.oshima-rehabili.com>

Topics



皆、真剣な眼差しです



貴重な体験
真剣さが伝わります



6班に分かれ、一人ずつ車椅子の乗車・操作体験をしました



作業作品をつくる指先をこまめに見ています

「うまいね」という声が聞こえました。ご利用者さんが日中活動で描いた書道や水彩画を紹介すると「すごい、うまい」と歓声があがりました。そんな中、一番歓声が大きくあがつたのはヘッドポインターという道具で、以前に描いた絵を見た時は「おー」という大歎声がありました。

9月9日に鹿部小学校2年生20名が施設体育館でボッチャ交流会をするために来所しました。どのチームも児童、ご利用者さんとお互いに「がんばって」の声援があつてとても良い交流が出来ました。

ご利用者さんが普段行っているボッチャと一緒に楽しみ、障害の理解と接し方も学習することができました。

2年生36名と車椅子体験交換会を行いました。

この交流会では、車椅子の乗車・操作体験を通して、ご利用者さんの日常の一部を知つてもらうことにより、障害の理解と人に対するおもいやりの気持ちを養うこと目

的としています。子の乗車・操作体験を通して、ご利用者さんの日常の一部を知つてもらうことにより、障害の理解と人に対するおもいやりの気持ちを養うこと目標としています。

はじめて車椅子の操作を体験する児童たちは皆、真剣にこの交流会に取り組み、学んでいました。

ご利用者さんに車椅子操作を児童に説明、また、ご利用者さんにもお手本を見せてもらいました。

元気いっぱいの歌を披露してくれました。

その後、職員が車椅子

操作を児童に説明、また、ご利用者さんにもお手本を見せてもらいました。

8月26日、鹿部小学校5年生25名とご利用者さんの作品交流会が行われました。

ご利用者は作業訓練で作った陶芸・革製品・手芸など作品を代表のご利用者さんが一つ一つ説明して披露し実際に作っている所を児童が見学しました。

夏休み中に作った作品を一人ずつ発表、その作品は表札・うちわ・洋服などがあり、発表している中でご利用者さんから



作品の説明は和気あいあい

鹿小2 ボッチャを一緒に楽しむ

鹿小4 車椅子体験交流会

鹿部小学校5年生と作品交流会

スカツとした秋晴れのもと “ふれあいひろば2014”開催

ご利用者さん、ご家族、地域の皆様との交流を目的に毎年開催されている、ふれあいひろば2014が8月31日行われました。祭りを盛り上げるの

に、ステージ上では“ふれあいコンサート”“ふれあいらいが”などが催され、また、町内外の各団体のボランティアの皆様にご協力をいただきました。



寺島三姉妹のみなさんの民謡に合わせて飛び入りで踊りました



子供達に人気のわたあめ



元気一杯、北斗夢学院桜組のみなさん



作業作品のお目当ての品は



療護部の白鳥信子さん、ご家族とご一緒にまつりを楽しみました



狙いをきめてお目当ての品をゲットできるかな？



今年も豪華景品！
どれにしようかな



輪投げゲームで好きな物をゲットできるかな



今年は炭火焼きのフランクフルトが好評でした



ボランティアの皆さんご苦労様です

ふれあいひろば2014の開催にあたり、ご協力をいただきましたボランティアをはじめとする地域の皆様には、この紙面を借りて厚くお礼を申し上げます。今後

もなお一層、地域に開かれた施設づくりに力を注いでまいりますので、ひきつづきご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



夏 と言えばお祭りに縁日、それに付きものなのは立ち並ぶ屋台。何を食べようか？何で遊ぼうか？この季節独特の懐かしい想い出が浮かびます。

施設正面青空広場には、焼きとり、焼きソバ、生ビール、フランクフルト、ポテトフライと様々な屋台が勢揃いしました。

腹ごしらえの後、ひと息入れてゲームに興じているご利用者さん。北海道の短い夏のひと時をみなさんと一緒に過ごすことができました。

 縁日における好きな屋台を1,000人に聞いたアンケートでは、焼きソバがダントツの1位だったそうです。

8月20日

ふれあい 縁 日

正面広場はアツという間に満席状態です



ピースサインを
出してくれた吉田武雄さん

盆踊り、あの日の想い出と一緒に

ズームアップ福祉の里

ご家族と交流訪問

この度、療護部の谷内義博さんが、故郷・森町へ帰郷しました。
早速、お母さんが入院されている病院へ出向き、久し振りの対面で恥ずかしさの余り苦笑いでした。

昔話に花が咲き、話をじつと聞きニコニコしている谷内さん！あつとい

う間に時が過ぎ楽しい時を過ごしました。



ご家族と記念の一枚

ご家族と 交流訪問

7月9日

いつまでもお元気で

秋 の気配を感じはじめたその日、熟年者代表で特養部魚住ミナ子さんが謝辞をのべ緊張せず言えたと満足気に話してくれました。

毎年心待ちにしている鹿部幼稚園のお遊戯はご利用者さんの心を和ませてくれます。豪華弁当にかに飯に満足、満足。

来年も皆さんお元気で敬老の日を迎えましょう。

長寿 飯田キヨさん
白寿 酒井タケさん
米寿 清水ヨシ子さん 益子陽子さん
柳原トシさん 上野輝子さん
柏専蔵さん
喜寿 石龜マリさん 金澤岩夫さん
辰宮清志さん 能代谷忍さん
藤田レイ子さん 長谷川貴さん



あまりのかわいさに頭ナデナデ



9月30日

熟年 おたのしみ会



園児達のかわいいおどり最高です

お気に入りの物をゲットして
笑顔でVサイン



景色をバックに記念の一枚



7月9日

函館生きいき 日帰り旅行

ご利用者が思い思
いに行きたい場所を
計画し函館を満喫するこ
の行事。療護部の齊藤幸
博さんと中川真由美さん
は、悩みに悩んだ末に行
き先を函館山に決定！ロ一
プウェイに乗り山頂へ…。
中川さんはロープウェイ
が少し怖かった様ですが、

頂上に降りると眺めのよ
い景色と気持ち良い風に
「やっぱり来てよかった」
と話されました。昼食に
お寿司を食べた後はディ
スカウントストアでショッ
ピング。お目当てのもの
を見つけて疲れも吹き飛
んだようです。

7月31日

理事長杯争奪 大相撲星取り 表彰式

技能賞	敢闘賞	殊勲賞	準優勝	優勝
療護部	更生部	更生部	更生部	療護部
脇坂利枝さん	高野茂記さん	児玉憲幸さん	藤野幸雄さん	坂本純一さん



坂本さんを中心に晴れやかな表情のみなさん

本

年度2回目となる理
事長杯争奪大相撲星
取名古屋場所。見事勝利
を手にしたのは、療護部
の坂本純一さん。坂本さ
んは着実に得点を重ねて、
千秋楽には一気に追い込
みをかけ、悲願の初優勝
となりました。

祝!!

初優勝

琴の音響き渡る



お見事でした



琴の音色にうっとり

一昨年も来所いただいた町内在住の3名の方（代表 草加三紀子さん）が琴演奏のボランティアに来てください、美しい琴の音色を聞かせてくれました。

渡島リハビリ後援会より



10月1日開設記念日に合わせ、ご利用者さん全員に記念品として「バスタオル」が贈られ、各施設長が受け取りました。大事に使わせて頂きます。



記念品を受け、鹿部社会福祉協議会会长根山事務局長より手渡される特養部・療護部・更生部の施設長

寄贈

ありがとうございます

厚沢部町	江差町	函館市	札幌市	北都プロレス	鹿部町
瀬波	酒井	藤辰	平井	クレイン中條	
辰夫	リツ	コウ	常昭	代表者	
様	様	様	様		

7月1日から9月30日の間に金品を寄贈された方々のお名前です。
誌上を借りまして厚くお礼申し上げます。

みんなの集まるところ 麺コーナー!!



うまそう!! 更生部 松岡元博さん



店内は、いい香りがただよい

“いらっしゃい!!” 麺が昼食として食べています。水曜日は天ぷら、月見、さらにスペシャルしょう油ラーメン。水曜（天ぷら十月見）と好みの具をトッピングし豪華に!!あつさりしたラーメンスープ派、食欲をそそるつゆ派。常連さんの中には毎日日はうどん、そば。金曜日、塩ラーメンと曜日ごとに麺を提供しています。食べてみていかがでしょうか。